

## 平成30年度 京都市国民健康保険事業特別会計決算概要

## 1 基礎計数

項 目	30年度予算	30年度 実績見込	増△減	(参考) 29年度実績
一般被保険者数	319,000人	311,970人	△7,030人	321,113人
一般世帯数	211,000世帯	208,567世帯	△2,433世帯	211,705世帯
一般総医療費	119,791百万円	114,539百万円	△5,252百万円	117,002百万円
一般1人当たりレセプト件数	15.29件	15.59件	0.30件	15.46件
一般1件当たり医療費	24,552円	23,553円	△999円	23,561円
一般1人当たり医療費	375,520円	367,147円	△8,373円	364,364円

## ポイント

○ 一般被保険者数が予算時点の見込に比べ減少

平成28年10月からの社会保険適用拡大及び雇用情勢の改善等により国保加入者が想定ほど伸びず、被保険者数が見込よりも減少したものである。

○ 一般総医療費が予算時点の見込に比べ減少

一定の伸び率を見込んで医療給付費の予算編成を行ったが、被保険者数が減少したことや1人当たり医療費が想定ほど伸びなかったことから、総医療費が見込よりも減少したものである。

## 2 財政状況

(単位:百万円)

項 目		30予算額(A)	30決算 見込額(B)	増△減 (B - A)	(参考) 29決算額(C)	増△減 (B-C)		
一般医療分	歳入	保険料	17,239	16,843	△ 396	※②,③	18,567	△ 1,724
		国庫支出金等	1	6	5		26,362	△ 26,356
		府支出金	101,888	98,184	△ 3,704	※④	5,986	92,198
		前期高齢者交付金	0	0	0		42,573	△ 42,573
		一般会計繰入金	12,381	12,304	△ 77		12,906	△ 602
		共同事業交付金	0	0	0		36,989	△ 36,989
		京都府基金貸付金	0	660	660	※①	0	660
		その他	264	286	22		390	△ 104
	小計	131,773	128,283	△ 3,490		143,773	△ 15,490	
	歳出	給付費	101,240	96,891	△ 4,349	※④	98,638	△ 1,747
		納付金	25,605	25,604	△ 1		0	25,604
		共同事業拠出金	0	0	0		36,042	△ 36,042
		保健事業費	1,120	1,063	△ 57		1,066	△ 3
		基金積立金	0	3,720	3,720	※①	0	3,720
その他		3,808	5,237	1,429	※①,⑤	4,426	811	
小計		131,773	132,515	742		140,172	△ 7,657	
差引過△不足額	0	△ 4,232	△ 4,232		3,601	△ 7,833		
後期高齢者支援分	歳入	保険料	6,220	6,079	△ 141	※②,③	5,922	157
		国庫支出金	0	0	0		8,055	△ 8,055
		府支出金	0	0	0		1,757	△ 1,757
		一般会計繰入金	2,511	2,489	△ 22		2,692	△ 203
		京都府基金貸付金	0	240	240	※①	0	240
	小計	8,731	8,808	77		18,426	△ 9,618	
	歳出	納付金	8,731	8,730	△ 1		0	8,730
後期高齢者支援金	0	0	0		18,366	△ 18,366		
小計	8,731	8,730	△ 1		18,366	△ 9,636		
差引過△不足額	0	78	78		60	18		
介護分	歳入	保険料	2,207	2,114	△ 93	※②,③	2,173	△ 59
		国庫支出金	0	0	0		2,975	△ 2,975
		府支出金	0	0	0		667	△ 667
		一般会計繰入金	839	820	△ 19		985	△ 165
		京都府基金貸付金	0	151	151	※①	0	151
	小計	3,046	3,085	39		6,800	△ 3,715	
	歳出	納付金	3,046	3,045	△ 1		0	3,045
介護納付金	0	0	0		6,817	△ 6,817		
小計	3,046	3,045	△ 1		6,817	△ 3,772		
差引過△不足額	0	40	40		△ 17	57		
退職者等医療分	歳入	保険料	153	100	△ 53	※②,③	273	△ 173
		府支出金	866	521	△ 345		0	521
		療養給付費交付金	0	0	0		1,120	△ 1,120
		京都府基金貸付金	0	74	74	※①	0	74
		その他	11	3	△ 8		3	0
	小計	1,030	698	△ 332		1,396	△ 698	
	歳出	給付費	875	530	△ 345		1,293	△ 763
納付金	153	153	0		0	153		
その他	2	1	△ 1		2	△ 1		
小計	1,030	684	△ 346		1,295	△ 611		
差引過△不足額	0	14	14		101	△ 87		
歳入合計 (A)		144,580	140,874	△ 3,706		170,395	△ 29,521	
歳出合計 (B)		144,580	144,974	394		166,650	△ 21,676	
単年度収支 (A - B)		0	△ 4,100	△ 4,100		3,745	△ 7,845	

※一般会計繰入金の内訳

	30予算額(A)	30決算 見込額(B)	増△減 (B - A)
保険基盤安定繰入金	9,227	9,152	△ 75
財政支援分繰入金	6,505	6,461	△ 44
計	15,732	15,613	△ 119

(参考) 29決算額(C)	増△減 (B-C)
9,574	△ 422
7,009	△ 548
16,583	△ 970

**収支不足の主な要因**

(括弧内の金額は収支への影響額)

**合計 △ 4 1 億円**

① **平成30年度補正予算による影響 (△ 4 3 億円)**

平成30年度において、平成29年度末における累積黒字54億円(実質的な黒字37.2億円)の活用を図ったことや、被保険者数の減少による保険料収入の減収見込に対して、京都府財政安定化基金からの貸付を受けたことから、単年度収支で△43億円の影響があった。

○平成30年度補正予算案件

(単位：億円)

案 件	歳入	歳出	収支
平成29年度国庫負担金 過大交付分返還金		16.6	△ 16.6
国保事業基金への積立		18.6	△ 18.6
財政調整基金への積立		18.6	△ 18.6
京都府財政安定化基金貸付金	11.3		11.3
合 計	11.3	53.8	△ 42.5

② **被保険者数及び世帯数の減による保険料の収入減 (△ 1 0 億円)**

被保険者数及び世帯数が見込よりも減少したことから、保険料収入が10億円の減収となった。

③ **徴収率の向上による保険料収入の増 (+ 4 億円)**

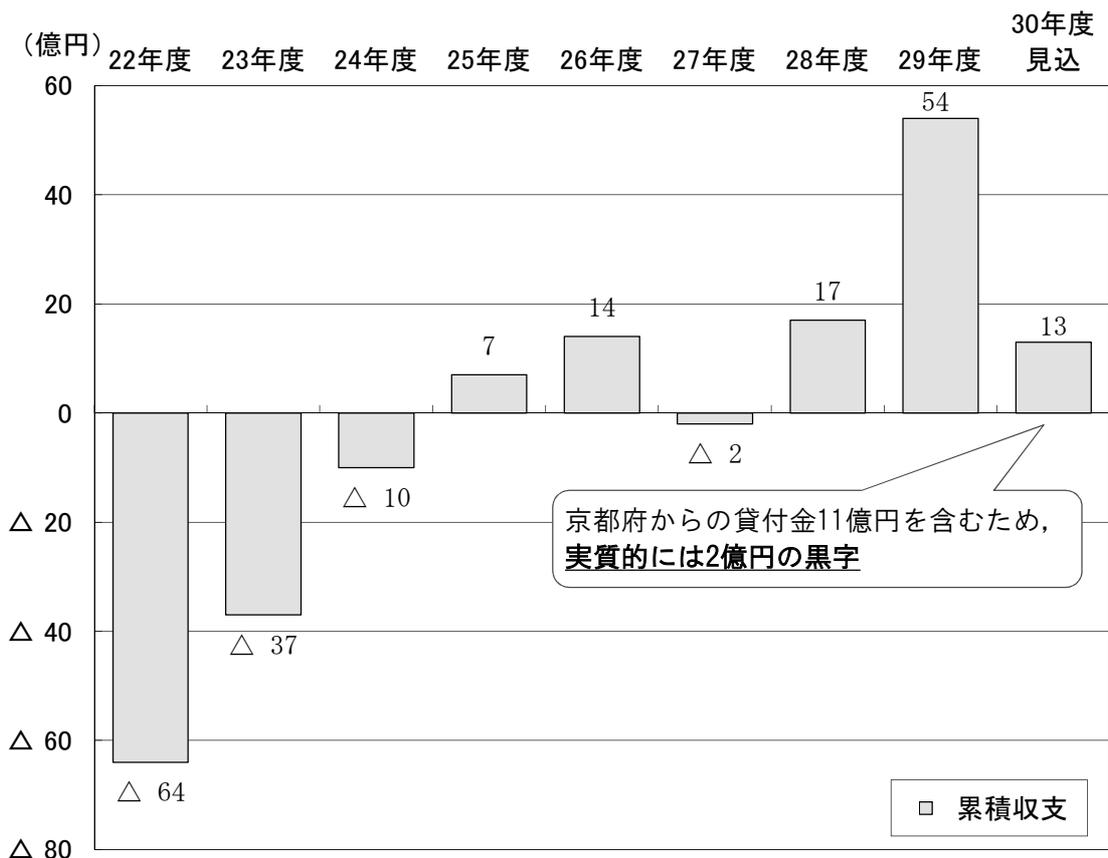
平成30年度予算においては、徴収率を93.75%で見込んでいたが、実績は94.49%となり、0.74ポイント上昇した。これにより4億円の増収となった。

④ **府交付金の増収 (+ 6 億円)**

都道府県単位化以前の国及び府の特別調整交付金に当たる保険給付費等交付金(特別交付金)について、システム改修費分や事業評価分等の交付金額が想定よりも確保できたことにより、6億円の黒字要素となった。

⑤ **その他経費の節減等 (+ 2 億円)**

### 3 累積収支の推移



#### 平成30年度末累積収支 13億円の黒字 (京都府貸付金(11億円)を差し引くと2億円の黒字)

平成30年度決算見込においては、41億円の収支不足となり、累積収支は13億円の黒字となった。

しかしながら、この13億円には、平成30年度に貸付を受けた京都府基金からの11億円が含まれており、平成30年度末の累積黒字が貸付金額を上回ったことから、令和元年度に繰上償還を行う予定としている。平成30年度決算における13億円の累積黒字から、令和元年度における償還額11億円を差し引くと、実質的には2億円の黒字となる。

引き続き、保険料の徴収率向上等による歳入の確保に努めるとともに、後発医薬品の普及啓発、特定健康診査や健康啓発事業等による被保険者の健康づくりなど医療費の適正化を推進し、国保運営の安定化に努めていく。